

轟 と ど ろ

平成22年 7月28日
7月号

第5回異世代交流会に参加



27日に樺木婦人会主催の異世代交流会が開催されました。子ども達の昨年度人気の演舞に加え、新しい踊りも披露しました。教職員の出し物も行い、地域の皆さんに楽しんでもらいました。

田植え・プール掃除を実施

1日(木)に泉町内の1・2年生はバスに乗って八代市内の施設見学に出かけました。図書館・市役所・JR八代駅・松中記念館を詳しく見学しました。市役所では、市長室や議場の中に入って説明を受けました。八代駅では新幹線も見ることができました。



キャベツが大豊作で各家庭に持ち帰り



子ども達がプール横の畑に植えていたキャベツとタマネギが時期を迎え、2日に全員で収穫しました。ALTのマシュー先生も手伝ってくれ、途中に英語のレッスンを入れながら収穫作業を頑張り、無農薬でもきれいな物が沢山採れました。みんなで分けあった物を自宅に持ち帰り、残りは給食の食材として利用しました。

生産体験が活発に

5・6年生が校庭やプランターに植えていた野菜が実り協力して収穫しました。ご覧の通りジャガイモは大豊作で、早速、家庭科の調理実習で美味しい粉ふきいもに変身しました。



校長コラム

3年間ALTとして頑張ったマシュー先生がアメリカに帰国しました。いつも自分から積極的に取り組もうとする姿勢には頭が下がりました。自分から挨拶・参加する・会話するなど知ろう・関わろうというマシュー先生の態度から国際人には絶対に必要な資質だということを痛感しました。授業の合間を縫って2人で英語と日本語を交えながら沢山の情報交換をしました。自分の英語は通じるのか一抹の不安はあったものの、何しろ実践あるのみ！ほとんど中学生で習う英語で通じるのです。時にはマシュー先生に日本語や風習を教えたりするなど、お互いをわかり合おうという姿勢があれば、通じないものはないことを体験できました。本当に楽しかった。今、日本人は世界中で仕事をしています。子ども達も8小を卒業してから、きっと世界に飛び立つ機会があるでしょう。それが当たり前になっているのです。いっぱい夢を持って、毎日コツコツ努力して実力を付けてほしい。みんなそれだけの力を持っています。小さくならず大きな夢を持って、何でも自分から積極的に関わろうとする姿勢があれば素晴らしい未来が見えてきます。

故郷を知ることの大切さを伝達

2日の校長講話は、「球磨川の鮎」についてでした。大人になって自分の故郷について無知だったことを反省して、故郷の球磨川を勉強する中で天然鮎の魅力に惹かれ、鮎の友釣りを始めたことや鮎の釣り方を9m50cmの竿を持ち込んでお話をしました。スライドで鮎の生態と魅力について具体的な画像をもとにして故郷を知ることの大切さを伝えました。



授業参観等を開催

6日には、授業参観、親子作業、親子給食救急救命講習、消火訓練、PTA総会と盛りだくさんの行事が開催されました。学校評議員さん方も全員ご参加戴きました。大人も子どもも先生方もみんなが一緒になって一日中活動できたことは大変意義のあることです。お疲れ様でした。



高木義政さんの写真のお話



14日に高木義政さんが趣味にされている写真の魅力について、お話をして戴きました。自宅に工房があるほどで、五家荘の各地に出かけてはフィルム写真でしか表せない撮影に出かけ、何時間も待っての一枚の写真のお話に自信と達成感がひしひしと伝わってきました。実際のカメラを持ち込んで子ども達も直接フィルターを覗くことができ感動をしきりでした。

楽しい児童集会を子ども達で

今月の児童集会は新聞紙にこだわったゲームでした。ペアになったジャンプ新聞紙移動競争、走って新聞運び、新聞に玉穴入れ合戦でしたが、どれも下級生が楽しそうに取り組んでいました。自分たちが考えたゲームで下級生が喜んでくれたことは上級生にとって大満足のようなものでした。



さようなら、マシュー先生

子ども達が大好きだったマシュー先生がアメリカに帰国しました。お元気で！

